

■個別目標1 科学的根拠に基づくがん予防の充実						
分野別施策／具体的な取組の内容		今年度の取組 (予定)	評価指標	現行値 ★は今回更新した項目	目標値	根拠資料 (出典)
I たばこ対策の推進	1 たばこの害に関する普及啓発の推進 ▼広報媒体・リーフレットを活用した効果的な普及啓発 ▼イベント等を活用した普及啓発の実施 ▼区が実施する健診 (検診) 事業、母子保健事業の場を活用した普及啓発の実施 ▼医療関係機関との連携による普及啓発の実施 ▼企業・民間団体との連携による普及啓発の実施	①区報・ホームページ等で、たばこの影響等について掲載、成人の集いでリーフレットを配布 ②禁煙週間キャンペーンの実施 (展示イベントは中止、ホームページにて啓発) ③食育イベント、がん対策イベント等でPR	喫煙による本人の健康への影響を理解	★肺がん95.0% (0.7ポイント減) ★気管支喘息 71.9% (5.4ポイント増) ★妊娠 (胎児) への悪影響 64.1% (7.2ポイント減) ★乳幼児・青少年の発達への悪影響 47.7% (7.9ポイント減) ★COPD 42.2% (3.5ポイント減) ★脳血管疾患 42.2% (2.6ポイント増) ★心臓病 40.4% (3.1ポイント減) ★歯周病 (歯槽膿漏) 26.6% (3.9ポイント減) ★その他のがん 32.3% (4.8ポイント減)	全体的に増やす	「健康」に関する区民アンケート調査 (R1)
	2 未成年者・妊産婦への喫煙防止対策の推進 ▼区内小学校・中学校でのたばこの害についての普及啓発 ▼ゆりかご・すみだ事業での妊婦への禁煙指導 ▼各母子保健事業における切れ目ない禁煙支援 ▼妊産婦歯科健診での働きかけ	①区内小学校へ、たばこのパンフレットを配布 ※中学校は都が配布 ②保健学習でのたばこ教育と、がん教育でのたばこの学習の推進 ③ゆりかご・すみだ事業における、専門職による家族も含めた喫煙状況の確認と、禁煙の働きかけ ④各母子保健事業でのたばこの影響の普及啓発と禁煙の働きかけ	受動喫煙の言葉も意味も知っている人の割合 未成年者の喫煙率 妊娠中の喫煙率 成人の喫煙率	89.9% ★5.9% (0.6ポイント増) ★1.1% (0.3ポイント減) ★16.0% (2.2ポイント減)	95%以上 0% 0% 12.0%	がんに関する区民意識調査 (H29) 「健康」に関する区民アンケート調査 (R1) 墨田区データ 「健康」に関する区民アンケート調査 (R1)
	3 禁煙支援の推進 ▼禁煙外来の周知の充実 ▼禁煙治療費補助の実施 ▼禁煙支援情報の充実 ▼歯科診療所における禁煙支援体制の強化 ▼薬剤師会における禁煙支援体制の強化 ▼健診・保健指導における禁煙支援体制の推進 ▼インターネット禁煙マラソンの活用	①禁煙支援用パンフレットの配布、禁煙外来・禁煙サポート薬局の周知 ② <u>拡充</u> 禁煙治療費補助の実施 ③ <u>拡充</u> 歯科診療所からの誘導、禁煙治療費補助事業及び禁煙サポート薬局の周知 ④がん対策イベントでの禁煙支援の実施 (墨田区薬剤師会) ⑤国保保健指導・肺がん検診における禁煙支援の実施 ⑥データヘルス計画の策定・推進 (国保年金課)	区内の受動喫煙防止対策実施施設の登録件数 受動喫煙防止条例の目的の認識度	★事業終了 -	- 100%	受動喫煙防止対策実施施設登録制度
	4 受動喫煙防止対策の推進 ▼飲食店における禁煙支援 ▼受動喫煙防止対策実施施設登録制度の推進 ▼路上喫煙防止対策の推進	① <u>拡充</u> 飲食店及び事業所における受動喫煙対策支援 (店頭標示ステッカー等の配布、飲食店等の訪店調査等) ②受動喫煙防止対策のための墨田区基本指針 (ガイドライン) の施行 ③ <u>拡充</u> 受動喫煙防止対策推進のための取組の検討 (たばこ対策部会)				

II がんを遠ざけるためのその他の生活習慣に関する取組の推進	▼がんを遠ざける生活習慣に関する普及啓発 ▼健診・保健指導における個別指導の実施 ▼「がん教育」の場における、がんを遠ざける生活習慣の普及啓発 ▼がんの予防の視点を取り入れた食生活の推進 ▼「すみだ健康づくり総合計画」に基づく取組の推進	①「健康寿命UP大作戦」の展開 ②がん対策イベント、広報、リーフレット等での普及啓発 ③食生活講習会での啓発 ④がん検診案内パンフレット等での「がん予防法」の掲載	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合 未成年者の飲酒割合 1日1食以上は主食・副菜をそろえたバランスのよい食事をとる区民の割合	★男性17.6% (1.4ポイント増) ★女性14.7% (5.4ポイント増) ★21.3% (1.3ポイント減) ★84.6% (7.2ポイント増)	男性13%以下 女性6.4%以下 0% 80%	「健康」に関する区民アンケート調査 (R1) 「健康」に関する区民アンケート調査 (R1) 「健康」に関する区民アンケート調査 (R1)
III ウイルス・細菌の感染に起因するがんに対する取組の推進	▼肝炎ウイルス検診の実施 ▼HPV感染の予防対策 ▼HTLV－1対策 ▼ヘリコバクターピロリ菌に起因するがん予防	①肝炎ウイルス検診の実施 (事業周知の強化、陽性者への受診勧奨と陽性者フォローアップ事業) ②HPV (子宮頸がん予防) ワクチン接種事業の実施 (積極的勧奨は差し控え)	区民の1日の野菜摂取量 日常生活における歩数 成人男性・女性の肥満者の割合	★270.1g (17.8g増) ★成人男性 10,986歩 (2,133歩増) ★成人女性 8,845歩 (955歩増) ★小・中学生 9,940歩 (460歩減) 成人男性 27.3% 成人女性 15.5%	350g以上 成人男性 9,000歩以上 成人女性 8,500歩以上 小・中学生 15,000歩以上 成人男性 28%以下 成人女性 20%以下	野菜摂取量調査 (R1) すみだ1ウィーク・ウォークチャレンジプログラム (R1) がんに関する区民意識調査 (H29)

■個別目標2 がんを早期発見するためのがん検診の充実						
分野別施策／具体的な取組の内容		今年度の取組 (予定)	評価指標	現行値	目標値	根拠資料 (出典)
I がん検診の概要 II がんの死亡率減少のために III がん検診事業の安定的運営	1 科学的根拠に基づくがん検診の推進 ▼国の指針に基づくがん検診の実施 ▼胃がんリスク検査の有効性の検証 ▼前立腺がんの実施体制の見直し	①胃がんリスク検査の有効性確認 (分析・評価) ②胃がん検診における胃内視鏡検査の安定的運営	区民のがん検診受診率	胃がん 33.1% 大腸がん 55.1% 肺がん 45.2% 子宮頸がん46.1% 乳がん 38.9%	全てのがん検診 50%以上	がんに関する区民意識調査 (H29)
	2 質の高いがん検診の実施 ▼検診実施機関に対する研修会・勉強会実施 ▼「がん検診実施状況調査」の実施 ▼検査医登録制度の導入 ▼がん検診精度管理部会への有識者招聘 ▼プロセス指標の分析による課題抽出 ▼検診実施機関に対するプロセス指標の情報提供 ▼精密検査結果報告様式の統一化 ▼大腸がん検診における検査体制の統一	①医療機関向け「がん検診実施マニュアル」〔検診実施編〕〔精密検査編〕の作成・配布 (総合・胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診・子宮頸がん検診・乳がん検診) ②精密検査の未受診者・未把握者への受診勧奨と追跡調査 (胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診) ③がん検診・健康診査コールセンター「すみだ けんしんダイヤル」の医療専門職を活用した精密検査の未受診者・未把握者への受診勧奨及び追跡調査 ④ 新規 検診実施機関ごとのプロセス指標 (要精検率・精検受診率・精検未把握率等) の医療機関への情報提供 ⑤ 新規 精密検査結果報告様式 (胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がん・乳がん) の活用 ⑥ 新規 肺がん検診及び乳がん検診の検査医登録制度導入	精密検査受診率	★胃がん 80.0% (6.5ポイント増) ★大腸がん 59.3% (0.9ポイント増) ★肺がん 30.8% (50.5ポイント減) ★子宮頸がん 73.2% (6.5ポイント増) ★乳がん 87.0% (6.1ポイント減)	全てのがん検診 90%以上	東京都精度管理評価事業 (H29)
				精密検査未把握率	★胃がん 13.4% (4.5ポイント増) ★大腸がん 32.1% (14.2ポイント増)	全てのがん検診 10%以下

		の検討 ⑦新規 検診実施機関に対する研修会等の開催 ⑧新規「がん検診実施状況調査」の内容の検討及び実施		★肺がん 69.2% (50.4^対増) ★子宮頸がん 22.7% (13.5^対増) ★乳がん 10.5% (5.5^対増)		
	3 がん検診受診率の向上 ▼検診を受けやすい環境の整備 ▼継続受診を促す個別勧奨・再勧奨の実施 ▼検診の定員の確保 ▼総合がん検診の導入の検討 ▼「がん対策アクション企業（仮称）」制度の創設 ▼企業等におけるがん検診の情報提供や受診勧奨の実施	①区内3施設において、乳がん検診を検診車で6月から年21回実施 ②新規受診及び継続受診促進のための個別通知による受診勧奨・再勧奨（胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がん・乳がん）の実施 ③がん検診・健康診査コールセンター「すみだ けんしんダイヤル」運営（申込み・問合せ・再発行対応） ⑤第一生命との職域連携（がん検診パンフレット配布及びアンケート実施） ⑥新規 総合がん検診の導入の検討 ⑦土日・夜間に受診できる実施機関の公開 ⑧子宮頸がん・乳がん検診における女性医師・技師の情報提供 ⑨新規 自己負担額の導入の検討				
■個別目標3 がんに関する正しい知識の普及啓発・健康教育の充実						
分野別施策／具体的な取組の内容		今年度の取組（予定）	評価指標	現行値	目標値	根拠資料（出典）
I 児童・生徒・学生へのがん教育の推進	▼「がん教育推進会議（仮称）」の設置 ▼がん教育事業の検証方法の確立 ▼学校関係者等への研修の実施 ▼「がん教育パッケージ」の更新 ▼外部講師を活用した効果的ながん教育の推進 ▼児童・生徒の家族への働きかけの実施 ▼地域住民への働きかけの実施 ▼高校生等へのがんに関する教育の支援	①拡充 区立小・中学校全校でのがん教育実施 ②区立小・中学校教員向けのがん教育研修会（指導室主催） ③拡充がん教育パッケージの更新 ④新規がん教育推進会議の設置 ⑤新規がん教育事業の検証法の確立	がんについて子どもと話をしたことのある割合 がんについての情報源として区のイベントと回答した方の割合	★36.1% (9.8^対減) 3.2%	50.5% 3.5%	「健康」に関する区民意識調査（R1） がんに関する区民意識調査（H29）
II 効果的ながんの普及啓発活動の推進	▼がん対策に特化したホームページの開設 ▼外国人住民を対象とした情報発信 ▼イベント等を活用した普及啓発活動 ▼医療関係機関との連携による普及啓発活動 ▼地域コミュニティを生かした普及啓発活動の推進 ▼職域と連携した普及啓発 ▼区内中小企業への普及啓発	①「がん対策アクション＆ピンクリボンinすみだ」の実施（9月28日～10月2日） ②都立墨東病院との連携による普及啓発の実施（10月3日～9日） ③女性の健康づくりイベント等でのPR ④若年健診、骨密度健診、肺がん検診等の場を活用した普及啓発の実施				

■個別目標4 がん患者が尊厳を保ちつつ安心して暮らすことのできる地域社会の実現						
分野別施策／具体的な取組の内容		今年度の取組 (予定)	評価指標	現行値	目標値	根拠資料 (出典)
Ⅰ がんに関する情報提供の推進	1 がん相談・支援、情報提供の体制づくりの充実 ▼がん相談窓口の設置 ▼がん患者支援に関する専用ホームページの整備 ▼がん相談支援センター・医療相談窓口との連携 ▼がん経験者による「がん総合相談」の実施 ▼医療、福祉関係職への情報提供 ▼保健・福祉部門への情報提供 ▼医療・福祉関係者への研修の実施 ▼がん治療における口腔ケアの必要性の普及啓発 ▼保健衛生協力員、民生委員との協働による普及啓発 ▼NPO法人・企業との協働による普及啓発 ▼患者会・患者支援団体との連携 ▼患者会・患者支援団体の取組の紹介 ▼患者会・患者支援団体への支援 ▼患者会・患者支援団体との連携強化 ▼患者会・患者支援団体の遺族ケアの支援	①がん患者支援に関する専用ホームページの整備 ②都立墨東病院「がん相談支援センター」との連携 ③がん治療における口腔ケアの必要性の普及啓発	がんについて「怖いと思う」割合	86.4%	77.8%以下	がんに関する区民意識調査 (H29)
			がん相談センターの認知度	12.9%	14.1%以上	がんに関する区民意識調査 (H29)
			緩和ケアの認知度「よく知っている」	54.3%	59.7%以上	がんに関する区民意識調査 (H29)
Ⅱ がんと診断された時からの切れ目ない緩和ケアの提供	▼緩和ケアに関する普及啓発 ▼がん地域医療連携体制の強化 ▼がん地域医療連携体制に関する情報提供 ▼地域医療連携に関する普及啓発 ▼かかりつけ制度の推進 ▼ケアマネージャー等への研修の実施 ▼在宅緩和ケアを担う人材の育成 ▼レスパイト等に関する普及啓発 ▼在宅緩和ケア連携システムの推進 ▼在宅療養における口腔ケア支援体制の推進 ▼在宅緩和ケアにおける薬剤供給体制の推進 ▼グリーフケア(遺族ケア)の研修の実施	①がん対策イベントでの緩和ケア普及啓発の実施 (都立墨東病院等と連携) [再掲] ②在宅緩和ケア・がん相談会「SAKURA」の開催 ③がん対策イベントでの遺族の集い (グリーフケア) の開催 ④新規アピランス支援の検討	緩和ケアについてのイメージ「がん治療の初期から緩和ケアを受けることができる」と思う割合	27.5%	30.3%以上	がんに関する区民意識調査 (H29)
			がん在宅死の割合	★20.4% (1.6ポイント減)	24.2%以上	墨田の福祉・保健
			がんになった場合、仕事を継続することは難しいと思う割合	49.8%	44.8%以下	がんに関する区民意識調査 (H29)
Ⅲ ライフステージに応じたがん対策	▼がんに関する情報の普及啓発 ▼小児・AYA世代の相談支援 ▼企業や事業所等との連携強化 ▼企業や事業所等におけるがんに関する正しい知識の普及啓発 ▼がん患者を支える医療・介護の連携の推進 ▼高齢のがん患者の意思決定の支援	①拡充がんに関する情報の普及啓発 ②拡充がん患者を支える医療・介護の連携の推進				